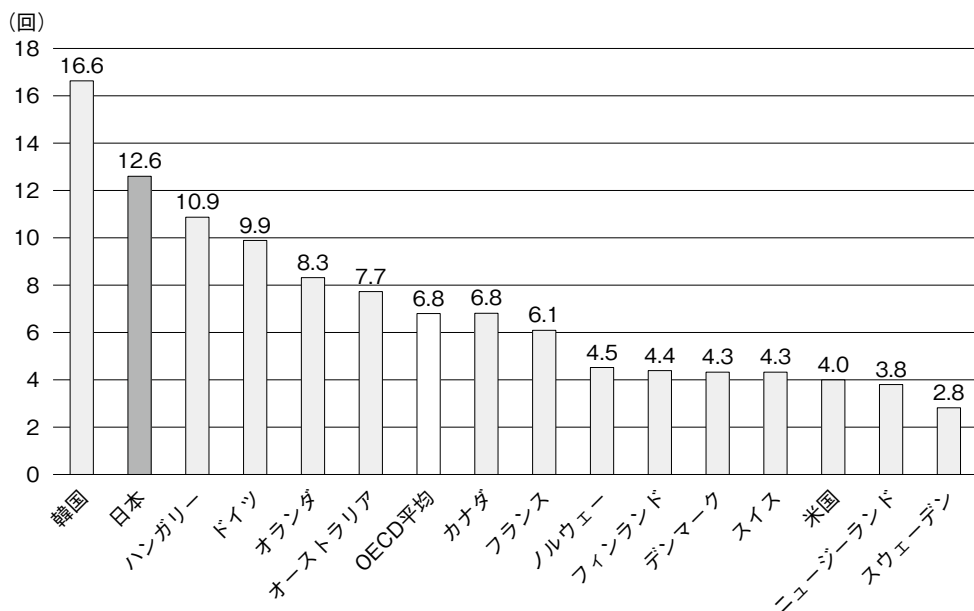


1人当たり外来受診回数（2017年）



OECDは加盟国の外来受診回数を調査している。各国で事情が異なるため参考値ではあるが、韓国が年16.6回でトップを走り、次いで日本が12.6回で2位につけている。両国での医療へのかかりやすさを思わせる反面、医師不足が叫ばれる日本では、この受診回数の多さがしばしば問題視される。なお英国は2009年までのデータしかなく、本調査には含まれていない。

「OECD Health Statistics 2019」より作図